

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 2 6 年度 第 3 回社会教育委員会議
開催日時	平成 2 6 年 2 月 1 4 日 (金) 午後 2 時 0 0 分 ~ 午後 3 時 0 0 分
開催場所	所沢図書館 3 階 集会室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 社会教育関係団体の支援策について
会 議 資 料	資料 「社会教育関係団体の支援策について」 答申案
担 当 部 課 名	教育長・内藤隆行、教育総務部長・平野澄彦、教育総務部次長・斉藤雅裕 生涯学習推進センター所長・比留間嘉浩、文化財保護課長・富田一成、 所沢図書館長・岸企子 教育総務部社会教育課 社会教育課長・浅野浩一、主査・橋本浩志、主任・石井のぶ江 教育総務部社会教育課 電話 0 4 (2 9 9 8) 9 2 4 2

所沢市社会教育委員会議 出席一覧

平成26年2月14日(金) 14時00分から 所沢図書館3階集会室

選出根拠	氏名	備考	出欠席
学校教育 関係者	古屋 正明	所沢市立小中学校校長会 (三ヶ島中学校長)	欠
学校教育 関係者	渡辺 由美子	所沢私立幼稚園協会 (第三文化幼稚園園長)	欠
社会教育 関係者	越川 輝代子	所沢市文化団体連合会 副会長	出
社会教育 関係者	青木 幸子	所沢市子ども会育成会連絡協議会 副会長	出
社会教育 関係者	佐野 喜代子	所沢市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団団委員長)	出
社会教育 関係者	古市 欣生	所沢市レクリエーション協会 副会長	出
社会教育 関係者	日向 貴一	所沢商工会議所 青年部会長	出
社会教育 関係者	加藤 和伸	所沢青年会議所 理事長	出
社会教育・ 家庭教育 関係者	斎藤 高史	所沢市PTA連合会 会長 (所沢中学校PTA会長)	欠
社会教育・ 家庭教育 関係者	成田 桂子	所沢市連合婦人会 副会長	欠
家庭教育・ 学識経験者	染谷 哲夫	秋草学園短期大学教授 幼児教育学科	出
学識経験者	田部 真一	淑徳大学非常勤講師 (元市内小学校長)	出
学識経験者	前橋 明	早稲田大学人間科学学術院教授	欠
学識経験者	有地 好登	日本大学芸術学部教授 美術学科主任	出
学識経験者	関 直規	東洋大学文学部教育学科准教授	出

選出根拠 = 社会教育法第15条第2項

関係課	富田	文化財保護課長	出
関係課	内堀	スポーツ振興課	欠
関係課	比留間	生涯学習推進センター	出
関係課	岸	図書館	出

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
社会教育課長	【 1 開会】
教育長	<p>【 2 あいさつ】</p> <p>諮問させていただいております「社会教育関係団体の支援策について」に対する答申の素案もご提示いただいているが、さらにご審議をお願いしたい。今学校では、様々な改革に取り組んでいるが、学校教育法の中に「体験的な学習が重要である」とある中で、その際に、社会教育関係団体やボランティアの方のご協力を得ることが望ましいとある。そのような意味でも、社会教育行政が果たす役割も大きいだろうと思う。本日の会議において、そのような観点からもご審議いただけたらありがたい。</p>
議長	<p>本日はあいにくの天気だが、審議の方も効率よく進めていければと思う。よろしくご協力をお願いしたい。</p>
議長	<p>【 3 議事】</p> <p>事務局より資料の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>事務局より資料説明。なお、前回の会議を受けて事前に田部議長、佐野副議長、関委員の意見を聞いて事務局でまとめたものである。</p>
議長	<p>今後のスケジュールについて、再度確認させていただきたい。</p>
社会教育課長	<p>今後は、来年度、5月あたりに第1回の会議を開催する予定であるが、そこで答申案をまとめて頂ければと思っている。任期が8月までとなっているので、その後修正等が必要な場合、正副議長にお任せ頂き、8月には答申いただく予定と考えている。</p>
議長	<p>皆さんには、事前にこの資料が届いていると思うが、事前にご指摘いただいた箇所を修正した形で、再度この資料が提示されたが、さらに皆さんのご意見を頂戴したいと思っている。</p> <p>ページ毎に確認をしていきたい。まず、目次だが、全体の構成に</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	<p>ついてご意見はあるか。</p> <p>《意見なし》</p>
議長	<p>それでは、この形で進めていくこととする。</p> <p>では次に 1 ページの「はじめに」だが、いかがか。言葉の使い方や語句などもご指摘いただけたらありがたい。</p>
委員	<p>資料の中に網掛けの部分があるが、これはどういうことか。</p>
事務局	<p>修正箇所の明示ということである。</p>
議長	<p>他にあるか。</p> <p>《意見なし》</p>
議長	<p>それでは、同じく 1 ページから 2 ページの「1 社会教育を取り巻く状況」はいかがか。</p> <p>2 ページの上段『市民・行政・関係機関』の部分で、『機関』の意味が多様に捉えられるのではないかという指摘があったが、いかがか。事務局の方ではどのように考えるか。</p>
社会教育課長	<p>この場合に、『関係機関』とは行政機関を指すように思われるので、『関係団体』とした方が、もっと広い意味で捉えることができるのではないかというご意見であったが、学校などの機関を含めると考えた場合に、『関係機関』がいいのか、『関係団体』がいいのか、どちらが適当かを皆様にご審議いただきたい。</p>
議長	<p>特にご意見がないようなら、関先生と事務局にご判断いただくということにしたいがいかがか。</p> <p>《一同了承》</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>では、そのようにさせていただく。次に、同じページ「（2）所沢市の状況」の中に『市民要望』の部分にも網掛けされているが、こちらについても事務局から何かあるか。</p>
社会教育課長	<p>この『市民』はどのような年齢層を指すのか、年齢別の要望の結果はないのか等、『市民』の要望を年齢別に示してはどうかというご指摘であった。この市民意識調査は毎年市で行っており、20歳以上の5,000人を対象にして実施されているが、この市民要望の結果は年齢別に示されてはいない。答申案の資料の中に、今申し上げたような調査の概要を載せることで対象はある程度は明らかにできるのではないかと考えているが、いかがか。</p>
議長	<p>9ページ以降の資料1の中にこの調査の概要を載せれば、2ページのこの『市民要望』の部分は、このまま表記してよいという内容であったが、いかがか。</p>
委員	<p>この調査結果の出典は明らかであるし、『市民意識調査』の結果ということで市民の要望であることは明らかであるので、『市民要望』の『市民』を取ってもいいのではないか。</p>
議長	<p>他にいかがか。9ページの資料1には、やはり多少の調査概要は必要であると思うので、簡単に入れていただきたい。2ページの『市民要望』の『市民』を取るか取らないかについて、全体の流れの中でまた関先生にご判断いただくということによろしいか。</p> <p>《一同了承》</p>
議長	<p>では、次の「2 所沢市の社会教育関係団体の現状と課題」についていかがか。</p> <p>《意見なし》</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>それでは、次の「3 社会教育関係団体の支援策」について、3 ページから 4 ページにかけてはいかがか。</p>
委員	<p>具体的な方法ということであるが、今までの意見がまとめられているので、この内容でいいと思う。</p>
議長	<p>他にはあるか。なければ、5 ページに移るが、まず「（2）つなぐ」まで見ていただきたい。いかがか。</p> <p>《意見なし》</p>
議長	<p>特に意見はないようなので、この内容とする。同じ 5 ページ「代表者会議」は後に審議いただきたい。次の 6 ページ「大学との連携（仮）」、7 ページ「地域デビュー支援（仮）」も後で審議するとして、先にそれ以外の部分でご意見はあるか。</p> <p>《意見なし》</p>
議長	<p>特にないようなので、保留とした 5 ページ「代表者会議」、6 ページ「大学との連携（仮）」、7 ページ「地域デビュー支援（仮）」について、審議したい。</p> <p>まず「大学との連携」についてだが、これは打ち合わせのときに出た意見であった。これは、近年、大学においてボランティアを希望している学生が増えているという背景から、学生のニーズと団体の人手不足をコーディネートする意味でも、大学との交流ができたらいいのではないかということから出された意見である。これについて、補足があるか。</p>
委員	<p>今まで議論を重ねた中で、この大学との連携についての考えが浮かんだ。ネットワークとは、社会教育関係団体同士の連携だけではなく、地域の中で時間や空間を共有している組織同士が、お互いプラスになるように連携していくという広い意味で考えた場合に、大</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>学も一つの選択肢としてあっていいのではないか。議長の話にもあったように、現在大学では、学生が実際に体験をして確認をしてみたいとか、学んだことが実際には現場でどのように活用されているのか見てみたいといったことを考えている学生が多いように感じる。このように思っている若い人たちがいる一方で、今までの会議で団体における若者の人材不足が指摘されていた。このことから、先ほどの 2 ページの『関係機関』には、大学も含めて考えられるのではないかとということで、この項目を提案した。</p>
委員	<p>組織的に大学とつながることを図るということだが、例えば文化団体連合会や大学等、具体的にどのように連携すると考えているのか。</p>
委員	<p>お互いの情報を知らないということがあるので、まずはチラシやポスターなどいろいろな方法を通じて、相互の情報が得られやすいようにすることからスタートし、最終的には、大学の中で「社会人基礎力」などの項目として、授業化や単位化することも視野に入れてもいいのではないかと考えている。あるいは、授業の一部として、現場体験という形で、例えば半期 15 回の中の 1 回をそれに充てるような形で展開していくことも不可能ではないと考えている。まずはやれるところからスタートし、最終的には、組織的に連携し合えば双方にとって安定的に連携することができるので、そのような形を模索しながら進めていけたらいいのではないかと考える。</p>
委員	<p>本学では、成果のプログラムとして「地域活動」という科目名で、1 年生・2 年生において、主にボランティア活動を自らが体験することが実施されている。1 年生では 10 回くらいになる。最近ではまちぞう（野老澤町造商店）に、クリスマスのイベントなどで 100 人くらいがお世話になった。この科目は、今コミュニケーション能力の不足や社会性の欠如が言われている中で、人間力を高めようということを目指しているが、学生たちが社会に出るきっかけにもなるのではないかと考えている。これから大学との</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>連携を検討していくにあたり、ボランティアとして学生に活動を求められた場合、前向きに考えていく準備はある。どの学校も、同じように連携する道は開かれているのではないかと思う。</p>
議長	<p>学生にとってもメリットがあることだ。ボランティアを経験して帰ってくると、少し大人になっていると感じる。そちらでは、単位になるのか。</p>
委員	<p>必修単位となっている。</p>
委員	<p>私達が演奏会などを行うと、受付が足りなかったり等、人手が足りず困っている。そういったときに、学生に受付をお願いすることができるということか。今までそのように考えたこともなかったので、たくさんお手伝いいただける場面はあると思われる。直接お願いしてよいのか。</p>
委員	<p>従来、市を通してボランティアの要請をいただいているので、まだ団体から直接要請を受けるといったことは行っていない。今の時点では、市を通して希望を伝えていただきたい。</p>
議長	<p>工夫をしながら連携できる部分がありそうだ。学生はやりたがっている。昨年、川越の東京国際大学で、ロータリークラブの若い人がメンバーになっているロータリーアクトという団体に話をしたことがあったが、何かお手伝いをしたいと思っている学生や社会人になったばかりの若者がたくさんいた。学生はやりがいや達成感がほしいと思っているようだ。今後、何か具体的に考えられるといいと思う。他にあるか。</p>
委員	<p>これは大学によってもいろいろ違っていると思う。ボランティアのことが話題に上るようになったのは、やはり震災後だと感じる。人は、特に若者は、やりたいこととやりたくないことがはっきりしていて、やりたいことは一生懸命に取り組むが、やりたくないこと</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>はそうでもない。学生は卒業しなければということがあるので、単位になることはやるが、そうでないとなかなか積極的に参加することが難しいという現状がある。一概に、大学と組織的につながりを持つというのは、少し難しいのではないか。今の話のように、市役所を通じて呼びかけるというところまでは組織的にできると思うが、今の本学の現状では、なかなか希望する学生は集まらないと思う。これが、単位をあげるからということがあれば、希望する学生は多くなると思う。震災後、学生は「自分ができることは何か」と考え、個人的なネットワークで活動をしているようだ。意外と学生の方が情報を持っていると感じている。</p>
議長	<p>それでは、この「大学との連携」については、実現できる可能性があるということで、ここに入れたいと思う。</p> <p>次に、7ページの「地域デビュー支援（仮）」に移る。こちらは、「ひらく」という項目の中で、以前に議論の中で出された6ページの下にある「ボランティア養成講座」以外に、具体的な方策の一つとして提案されたものであるが、これについて説明願いたい。</p>
委員	<p>この「ひらく」は、団体同士のつながりとは別に、団体が地域や市民にひらいていくことで、裾野を広げ、地域により根ざしていくという趣旨で考えられてきたものであった。前回までの議論の中では「ボランティア養成講座」という形で講座を受けていただき、団体の活動を実際に体験することで関心を持っていただく。場合によってはそこから活動に参加することもあるということだった。このように、関わりを密にするという点からボランティア養成講座というものを議論されたが、どんなものか見てみたいとか、ちょっと話を聞いてみたいなど、ボランティア養成講座よりももっと手前の段階の、もっと生活に近いところで気軽に尋ねることができる相談窓口のようなものを作ってみたらどうかというものが、この「地域支援デビュー」というものである。他の自治体の取り組みを見てみると、1日だけのイベントを開催してたくさんの人に来ていただくなど、連続講座ではない形でボランティアをコーディネートする事業</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>を行っているところが多い。所沢の場合、今までボランティアをやりたいという声に対して、情報がないために対応できなかったということもあるので、メールや電話、あるいは窓口で相談に来られた場合に、話を聞いて、そのニーズに合った組織や団体の活動を紹介していくという機能を果たすということで、この「地域デビュー支援」を提案した。つまり、「ひらく」という項目の中で、具体的な支援策として、意識が高いような方々へ対する支援として「ボランティア講座」、自分に合った活動を知りたいといった方々への相談窓口として「地域デビュー支援」ということである。相談しても、ボランティア活動に参加しないこともあるだろう。この2つがあれば、よりひらいた支援ができるのではないかと考えた。この場で審議いただけるとありがたい。</p>
議長	<p>具体的にどうするのかは後で考えるとして、このような提案はともいいと思うが、いかがか。方向付けということでよろしいか。</p> <p>《一同了解》</p>
議長	<p>では、皆さんの了解をいただいたので、この項目もこのようにさせていただく。</p> <p>次に、7ページ「4 支援策の検証」に移る。5ページの「代表者会議」も一緒に審議していく。</p> <p>代表者会議を通じ、何か活路を見出せないかということで、この会議を実施するということは、前回の会議で話し合われたわけだが、実際に開催してみたらどうかと提案があった。何かご意見はあるか。</p>
委員	<p>今回のこの「代表者会議」は、内容は情報や課題を共有しようというものであると思うが、『会議』よりは『代表者ミーティング』といった名称の方がいいのではないか。『会議』というと、何か重々しい感じを受ける。活動している方々が集まるということとはとてもいいことだと思う。抱えている課題が、自分たちだけの問題ではな</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>いということ認識するだけでも、意味があることだと思う。そういった問題を共有して解決していくことが重要であるならば、『会議』ではなく『ミーティング』といった名称の方が、参加しやすいのではないかと感じた。</p>
議長	<p>大事なお指摘ありがとうございました。他にはあるか。</p>
委員	<p>5 ページに「互いを知る」とあるが、実際に団体同士、お互いのことを知らないと思う。団体を代表して、こうした会議に参加すると、他の団体でもいろいろ悩みがあるということがわかった。今のご意見のとおり「代表者会議」というと堅苦しい感じがするので、お互いの交流会というような名称にして、団体が参加して知り合い、情報を共有すれば、合同企画しようなどということにつながってくるのではないかと。市役所が主導してこのような場を設けることは、とても良いことである。</p>
議長	<p>では、名称については、事務局にお任せするという事によろしいか。</p> <p>《一同了解》</p>
委員	<p>前回までの会議の中で、団体同士の知り合う機会や交流する機会ということで、以前に行われたフォーラムが大変良かったということで意見を述べた。今回の「会議」という名称が重々しいというのは賛成だが、それぞれの代表者が集まったの会議ということだけではなく、それぞれの団体の日頃の活動やイベントへ、各団体の代表者を通じて様々な方を招聘するという事、お互いを知る上でとても有効であると思う。代表者が集う中で、改めて自分たちの活動を紹介するのも難しい部分もあると思われるので、そういった意味でも、各団体の行事にお互いを招待し合うということも付け加えていただけたら、お互いに知り合うということがスムーズにいくと思う。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>では、これらの件に関しては、まとめて事務局にお願いすることとする。</p> <p>7 ページ「4 支援策の検証」の部分に移るが、では実際にこの会議を開催するということによろしいか。</p> <p>《一同了解》</p>
議長	<p>では、いつ・どこで等を決めていく。我々社会教育委員が何名か参加した方がいいと思う。事務局と事前に考えた案があるのだが、提案させていただく。</p> <p>3月8日（土）の午後1時30分からということで、会場は後で事務局に設定してもらおう。参加していただくのは、補助金が交付されている社会教育関係団体の17団体と、社会教育委員と社会教育課。これによろしければ、議長と副議長と事務局にて詳細を決めさせていただくということにしたいが、いかがか。</p> <p>《一同了解》</p>
議長	<p>それでは、そのようにさせていただく。代表者会議について、他に何かあるか。</p>
委員	<p>17団体ということで絞られてはいるが、分野別に分科会を開くといったように、まずグループで自己紹介をし、それから全体で討議をするといった形がいいのではと感じた。</p>
議長	<p>貴重なご意見であった。流れをどうするかは、また事務局と相談するが、今のご意見はぜひ取り入れて、関係する団体が身近に情報交換できるようにする場を設けられるように計画したいと思う。</p> <p>それでは、8ページの「おわりに」に移る。ここは、代表者会議が終わってみないとわからない部分であるが、検証の結果や課題が盛り込まれるものと思われる。</p> <p>答申案の中の代表者会議の実践の結果とこの「おわりに」は、</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	<p>また次回に提案をさせていただくこととしたい。これより前の部分に関しては、皆さんにご了解をいただいたということによろしいか。</p> <p>《一同了解》</p>
議長	<p>ではここで、進行を事務局にお返りする。</p>
委員	<p>一つ確認だが、この答申を提出して、これらはどのように今後生かされていくのか。答申を作ることが目的ではなく、答申の内容を進めていくことからスタートすると思うのだが、これを教育長宛に提出すると、どのように生かされていくのか。</p>
社会教育課長	<p>諮問という形で、この社会教育委員会議に「社会教育関係団体の支援策」についてご審議いただき、その結果答申をご提出していただくわけだが、それを受けて行政として何ができるかということであり、また次の課題も見えてくるのではと考えている。今回の答申案では大きな3つの柱立てとなっているが、行政としてどこまでできるかを検討させていただきたい。</p>
委員	<p>ぜひ実現できるように、努力していただきたいと思う。</p>
教育長	<p>この素案を見せていただいたときに、考えたことがいくつもある。例えば、スポーツ関係の団体にもこのような情報を提供しないといけないとか、地域デビュー支援の項目においては、所沢では高齢化率が23%と高齢化が進む一方、都心に近いベッドタウンということで、働かされている優秀な方々がたくさんいる。そのような方々が定年を迎えて、地域デビューをするときに、ぜひ社会教育の方にお力添えいただきたいという願いもある。答申いただいた中の支援策は、ぜひ施策化できるようにしていきたいと思う。また、「つなぐ」という代表者によるミーティングについて、大変素晴らしいことであるが、横に広がることと同時に、大先輩に学んだり、若い</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長（続き）	<p>世代も取り込んでいくといったような縦に広げていくことも考えられると感じた。これらのご提案を、一度に全て行うことはできないが、これらをできれば施策化につなげていきたいと思う。</p>
議長	<p>私たちが数年間かけて考えてきたことを、文字に表したのがこの答申であるので、ぜひそれを行政に生かしていただきたいと思うし、私たちもそのつもりで議論してきたので、よろしく願いたい。</p> <p>それでは、進行をお返しする。</p>
社会教育課長	<p>本日は答申案という形で、具体的にご審議いただき、様々活発なご意見を頂戴した。</p> <p>それでは、報告事項に移る。</p>
事務局	<p>【4 その他】</p> <p>事務局より、成人のつどいについての報告をした。</p> <p>さらに、事務局に代わって、人間地区社会教育委員部会長の古市委員より中央公民館で行われる人間地区生涯学習フォーラムの予定について報告があった。</p> <p>【5 事務連絡】</p> <p>文化財保護課より、埋蔵文化財調査センター年報 平成24年度について、所沢図書館より、第二次所沢市子どもの読書活動推進計画についての報告を行った。</p>
副議長	<p>【6 閉会】</p> <p>短い時間でたくさんのご審議をいただいた。これから忙しい年度末を迎えるが、5月の会議に向けて、ミーティングも充実したものにしていきたいと考えている。</p> <p>《以上で終了》</p>